

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第4回東秩父村小・中学校あり方検討委員会
開催日時	令和6年1月19日(金) 15:00~16:45
開催場所	東秩父村役場2階 大会議室
出席者	出席者9名(委員5名・事務局4名) 〔委員〕高橋守委員長、轟元気委員、高野次雄委員、 川島一伸委員(代理・河西亜記子教頭)、田端隆二委員 〔事務局〕小林教育長、足立事務局長、志田指導員、吉田指導員、笠間
会議記録	発言記録 要点記録
議事内容	<p>1. 開会 事務局</p> <p>2. 教育長あいさつ 小林教育長</p> <p>3. 委員長あいさつ 高橋委員長</p> <p>4. 協議事項</p> <p>(1)あり方に関するアンケートの結果について</p> <p>〔事務局〕各アンケート結果について説明。</p> <p>〔委員長〕アンケート結果をみると、保護者及び住民は施設一体型を希望しているが、中学校の教職員は施設分離型を希望しているような結果がでている。その要因は何か。</p> <p>〔委員〕昨年度は小学校で勤務し、今年度は中学校で勤務した経験から考えると、中学校はあまり積極的ではないように見受けられる。昨年度よりは連携が進んでいるので、教職員も連携の良さが徐々にわかってきたのではないかな。</p> <p>〔委員〕先生方が施設分離型を選択している結果が出ている。連携は進んでいるが、保護者や住民に周知されていないのではないかな。5年、10年先のビジョンを持って、コミュニケーションをとりながら教育を考えていくことが重要で、一体型に向けて意識の改革をしていくことが良いと思う。</p> <p>〔事務局〕以前、中学校に勤務していた経験から考えると、授業時間が小学校45分、中学校50分と異なり、小学生が授業終了後の休み時間に騒いだりして中学生が集中できないことが予想され、このようなアンケート結果になったのではないかな。授業内容や教育方法が変われば解決できる可能性もある。</p> <p>〔委員長〕中学校は入試等もあるので、考慮しなければならない。施設一体型のメリット、デメリットを検討していく。</p> <p>〔委員〕メリットを多くしていくことが良いと思う。早く施設一体型にしたほうが良いのではないかな。</p> <p>〔委員〕アンケート結果については、こういう意見もあると受け止めた。</p> <p>〔委員〕アンケート結果の意見に、施設一体型であれば、中学校に進学する不安が解消されるとあったが、先日行われた中学校の入学説明会では小学6年生が非常に緊張していたので、こういった不安は施設一体型になると解消できると思う。</p> <p>〔委員長〕子どもたちは、すでに少人数で交流してきているので、施設一体型を別世界ととらえずにスムーズに移行でき、前向きである。</p> <p>〔委員〕小学校は将来的な成長がイメージできるが、中学校は面識のない子が入学してくるのであまりイメージができない。施設一体型でそのギャップが埋</p>

められるのではないか。

委員長 施設分離型となると、距離が離れているので物理的に難しいのではないか。

委員 校舎が離れていると、移動に時間がかかってしまう。

委員長 小川町だと、小川西中学校を将来的に小学校にする予定だが、補助金等の関係もあり、トイレ等の改修工事はすぐにはできないという問題があるので、改修等での対応も様々な問題がある。

委員長 特色ある教育について、東秩父村では「小学校1年生からの英語教育の実施」と「給食費の無償化」が挙げられる。アンケート結果では様々な意見が出ている。新たにこうした方が良いという意見よりも今まで実施していることに対する意見がほとんどである。村は、少人数という特色を生かして、学力をトップクラスにするくらいの意気込みを持ってもいいと思う。そのためには、地域の方々の学習に対する思いが大切である。学力の高い福井県を例に挙げると、子どもたちへの課題の出し方や宿題のやり方等に工夫があり、家庭学習が身についている。地域の方々も学習に対する関心が高いこのようなことは村でもやりやすいのではないか。あとは豊かな自然の活用ができるといい。村として課題を洗い出し、答申に盛り込んでいきたい。そのためには委員の皆さんにアイデアを出してほしい。

委員 それはすぐにできることではなく、積み重ねが大切である。グローバルな人材に育てるようにしてほしい。そのためには子どもたちの素直さだけでは足りない。

委員長 自己主張ができない子どもが多いように感じる。広い世界に行ったときにつぶれないようにしなければならない。以前勤務したときがわ町のおおくぬぎ小学校は全校で13人の小さな学校で、体験が少なく、子どもたちは切符を買ったことがなかったので、遠足は電車に乗る体験をした。いい経験になったと保護者からは好評だった。このようにその地域で何が課題かを洗い出して教育を進めていくことが大切である。

委員 今回の話し合いの目的は何か。間口が広すぎるのではないか。

委員長 前回から時間が空いてしまったが、今回はアンケート結果をもって実態把握を行うことが目的である。次回から課題を洗い出し、絞っていく。

委員 委員の出席率が悪いので、偏った意見になってしまう。委員には出席して、意見を出してほしい。事務局には出席率を上げてほしい。

事務局 委員長の作成した資料をもとに次回までに課題を出してもらおう。洗い出しを2月中に行う。今後のスケジュールは、5月から10月まで毎月1回開催し、10月には答申をまとめる予定で進めていく。

(2)その他 →なし

5. 次回開催について

→2月29日(木)午後3時00分から開催予定

6. その他 →なし

7. 閉会 事務局

